

## 令和2年度事業報告

(自令和2年4月1日から至令和3年3月31日)

### 【概要】

実施事業（継続事業）の進捗として「ひらく・ナビ事業」の「ひらく・ナビ20」はコロナ後の就労に関する情報更新「ひらく・ナビ50」はサイト更新を行った。また、ひらく・ナビ展開事業である「shoku-nin」はサイトの更新を休止中である。

調査事業は、これまで行っていた大学生の就職活動調査を見合わせた。

出版は「親心の出し方」の購買依頼があり在庫より納本を行った。

その他の事業（収益事業）はじぶん計画ダイジェスト版事業で予定されていた、「自分で動く就職」2022年版を1月に発行し1,600部の発注を受け、一部を年度内に納品した。

また、書籍以外の事業売上は、スタート3年目の人材紹介が300万円弱、独自の資格付与事業は約7万円となった。また、更新講習事業は217万円と前年度を上回り、着実に進捗している。

### 【実施事業（継続事業）】

#### 継続1

#### I. ひらく・ナビ事業 目的（若年層及びベテラン（50代）層に対する情報発信）

##### 1. 各サイトの改修・管理

ひらくナビ20のサイト閲覧者に対する個別問い合わせは、昨年度より減少しているが、誠実に対応を行った。

「ひらく・ナビ50」はコロナ関連情報の発信を行った。また毎月の雇用動向<有効求人倍率等>の情報発信を継続している。

具体的作業は次の通り

- ・ サイト各項目のリンクチェック
- ・ サイト提示の法的解説の法律変更の確認、修正
- ・ 制度改革等、公的情報の発信

##### 2. ひらく・ナビ20の展開

- ・ 就労に関するタイムリーな記事の提供

##### 3. ひらく・ナビ50の展開

- ・ 公的情報<厚労省：有効求人倍率>の発信にともなうトレンド解説

##### 4. 「shoku-nin」サイトは更新休止状態となった。

## 継続2（出版）

### II じぶん計画事業

目的（20歳からの自分計画の一環とした事業を行う）

#### 1. 「就活<親心>の出し方」の改訂版の販売

2校<駒沢女子大学（630部）/淑徳大学（300部）>への納品。

駒沢女子大学に対しては、昨年7月の改訂版に対して重版を行い、残部数と併せて本年7月末に納品の予定。

## 継続3（調査）

### III. 調査・研究事業 目的（労働市場に関する情報提供）

大学生の就職活動に関する調査はおこなわず、同調査の昨年度データをダイヤモンド社へ提供した。

### 【その他事業（収益事業）】

#### 1. じぶん計画ダイジェスト版事業

「自分で動く就職」の改訂版として「自分で動く就職 2022年版」を発行した。トータル印刷部数は2,000部

購入校 一覧

学習院女子大学（先方の依頼によりデータ納品<PDF>）東放学園グループ（970部※納品は次年度）淑徳大学（200部）、となり、残が1,738部となり、この後販売を行う。

#### 2. 人材紹介

「EARC-HIRING」サイトの中に昨年オープンした人材紹介のコーナーを通じて若干名の登録があり、登録者に対して、カウンセリングを行った。

事業開始から3年目の人材紹介は、マイナビ求人エンジンを使用し、年度内の成約は1名となった。その他明治コンサルタントより、人材スカウトの依頼を受け、コンサルタント料として115万、スカウトの着手金としてとして154万円が収入となった。

#### 3. 独自資格認定事業

独自認定事業については、EAT3級の講習のみを行った。

#### 4. 厚生労働省キャリアコンサルタント更新講習の再申請

キャリアコンサルタント更新講習の申請7講習が再認可された。

この7講習については1講習がすべてリモート、4講習がリモートと通学講習併用の申請を行った（コロナによる厚労省の省令改正により柔軟な対応が可能となり法的根拠が整った）また、残り2講習は講習の内容上、対面での講習が必要なため、通学形式のままで行う。尚、2講習については年間開催数の増加、HRCCの再就職支援関連講習は定員の増加。認知行動療法の講習は定員の減員と定価の減額を行った。

今年度1-3月は、キャリアコンサルタント資格創設後、最初の更新期間にあたっていたため、多数の受講者が集まっていたが、コロナの影響で複数の講習をやむなく延期・中止とした（前年と同様の状況）。但し2講習については年度またぎの開催を厚労省が認めたため、次年度に実施した。